

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	うるおいある生活環境づくり			総合計画コード	532
部名	都市建設部	主管課名	みどり公園課	主管課部課コード	050300
関連部課名	都市建設部(まちづくり推進課、道路整備課)				

1. 施策概要

めざす目的成果	市内の緑地や河川で多様な生物を見ることができ、多くの市民が緑や水辺に親しんでいる。					
施策概要	市民に親しまれている黒目川について、遊歩道整備、周辺環境に調和した植樹などを市民と行政が一体となって推進する。公共施設における敷地内緑化及び、開発事業による緑化の推進に努めるとともに、湧水の保全・活用を図る。					
個別計画関連計画	計画名称	朝霞市都市計画マスタープラン	計画期間	H	18年度 ~ H	37年度
		朝霞しみどりの基本計画		H	12年度 ~ H	37年度
		朝霞市景観計画		H	28年度 ~ H	年度

2. 実施結果

H28年度の施策の実施内容	黒目川桜並木に開花時期に合わせ、黒目川提灯、灯籠、仮設トイレを設置した。 黒目川沿いの広場に健康遊具等を設置した。 ふれあい花壇において、市民ボランティア団体によるラベンダースティック講習会を実施した。 朝霞の森において、落ち葉を利用したイベントを開催した。 生物多様性市民懇談会を2回開催した。					
H28年度の基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	黒目川桜並木の管理を適切に行った。				
	子育てがしやすいまち	朝霞の森において、落ち葉プールを設置した。				
	つながりのある元気なまち	市民ボランティア団体への支援を行った。				
	自然・環境に恵まれたまち	生物多様性市民懇談会を開催した。緑化奨励金及び生け垣設置奨励補助金を支給した。				
総コスト(事業費+人件費)	単位:千円(決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		22,646	—	—	—	—

指標名(説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 公園・緑地管理ボランティア団体数	団体	18	18	18	18	19
		(説明)公園や緑地を管理する市民ボランティア団体数	20	—	—	—
②	(説明)					
			—	—	—	—

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>○ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input checked="" type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>(説明) 公園管理ボランティアとして、新たに2団体(せんずい山児童遊園地、仲町児童遊園地)から設立届出があり、公園・緑地管理ボランティア団体が20団体になった。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明) 朝霞らしい魅力のある景観をつくり、守っていくために、黒目川の景観を保全するとともに、斜面林や水辺に親しむ場の創出をさらに進める必要がある。 また、生物多様性の保全、景観形成の観点から緑地を適切に管理していくため、管理の担い手を育成し、技術を伝承していくことや、市民、事業者との連携、協働により、みどりを守り、育てる担い手を増やしていく必要がある。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 市民は本市の自然環境の豊かさ、魅力を評価しているが、樹林地の減少傾向が続いていることに加え、管理の行き届かない樹林地や生態系に影響を及ぼすおそれのある外来種が増加するなど課題が生じている。また、生物多様性の保全や景観計画に基づく良好な景観形成に寄与する緑を、市民、事業者との連携、協働で守り、質の維持、向上を図っていくことが必要であるが、担い手となる市民ボランティアの高齢化が進んでおり、参画する市民、事業者の裾野を広げていくことが課題である。</p>

4. 今後の展開方針[部としての判断]

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p> <p>(説明) 本市で保全されている緑と水辺の質を適切な管理により維持、向上していくため、市民、事業者と連携、協働して緑地管理等のボランティア活動を推進していくとともに、より多くの市民・事業者が参加できる機会を創出し、みどりを守り、育てる担い手を育てる。また、市民が緑と水辺に親しむことができる環境を引き続き確保していく。</p>																																													
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p><input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>(説明) 潤いのある生活環境づくりを進めるうえで公共施設が先導的な役割を果たすために、県と連携して黒目川等の河川の景観や環境を維持するとともに、市が管理する緑と水辺の適切な維持管理や公共施設の緑化を推進する。また、市民、事業者が行う植樹等の事業や樹林地の管理活動をはじめとする緑地保全、緑化推進、景観形成等を支援する。</p>																																													
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 黒目川桜並木管理事業</td> <td>30,799</td> <td>16,297</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>2 花の植栽事業</td> <td>6,168</td> <td>6,349</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>3 都市計画総務事務事業</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>4 緑化推進事業</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計(単位:千円)</td> <td>36,967</td> <td>22,646</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	1 黒目川桜並木管理事業	30,799	16,297	5	5	現状のまま	2 花の植栽事業	6,168	6,349	5	3	現状のまま	3 都市計画総務事務事業	—	—	5	5	現状のまま	4 緑化推進事業	—	—	5	5	現状のまま	5						計(単位:千円)	36,967	22,646	—	—	—	<p><input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				H30に向けた 投入資源の方向性																																						
	H27決算	H28決算見込																																												
1 黒目川桜並木管理事業	30,799	16,297	5	5	現状のまま																																									
2 花の植栽事業	6,168	6,349	5	3	現状のまま																																									
3 都市計画総務事務事業	—	—	5	5	現状のまま																																									
4 緑化推進事業	—	—	5	5	現状のまま																																									
5																																														
計(単位:千円)	36,967	22,646	—	—	—																																									
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>【緑化推進会議】・朝霞市みどりの基本計画及び花とみどりのまちづくり構想(第4期)に基づき、的確に施策を推進していくよう求められている。【景観審議会】・朝霞市景観計画に基づき、的確に施策を推進していくよう求められている。 【まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会】・ボランティア活動に意欲のある高齢者は増加傾向にあるため、公園・緑地管理ボランティア団体は今後も増える余地があるのではないかと、受け皿がマッチングしていないことが課題であるが、例えば、公園の日常的な清掃を受け持つ自治会・町内会等が有効な受け皿の一つとなるのではないかと。</p>																																													
<p>部長の意見</p>	<p>本市には、市民に親しまれている黒目川をはじめとする河川、台地の縁に残る斜面林、多くの湧水地など、豊かな緑や水辺が残されている。しかし、樹林地や農地の減少は続いており、生物多様性の保全、良好な景観形成等の観点から、緑と水辺の量を確保するとともに、質を維持、向上させていくことが重要である。また、生活に潤いをもたらすためにも、市民が緑と水辺に親しめる環境を確保していく必要がある。このため、みどりの基本計画、花とみどりのまちづくり構想(第4期)及び市の景観計画に基づく施策を着実に実施していく。また、みどりを守り、育てる担い手となる市民、事業者の裾野を広げていく方策を検討する。</p>																																													